

# 地震はどうして起きるの？

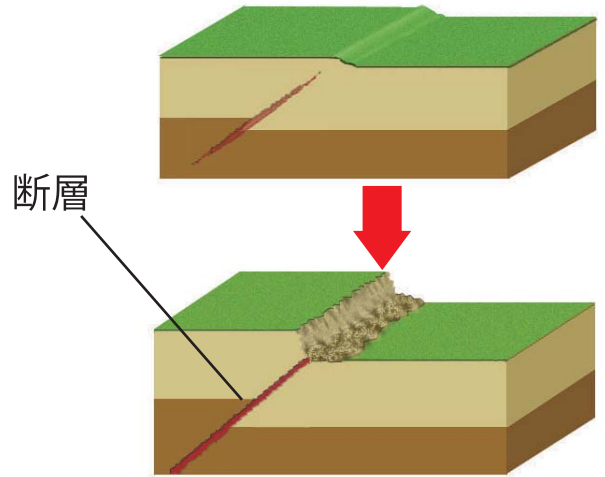
## ●地震とは？

地面の下の岩石には、とても大きな力がかかっており、その力にたえられなくなった時、ある面を境に地面の下の岩石がずれるようにこわれます。このような現象を「地震」といい、ずれた面を「断層」といいます。ずれの量が大きくなるほど、大きな地震になります。

## ●地震が発生する場所

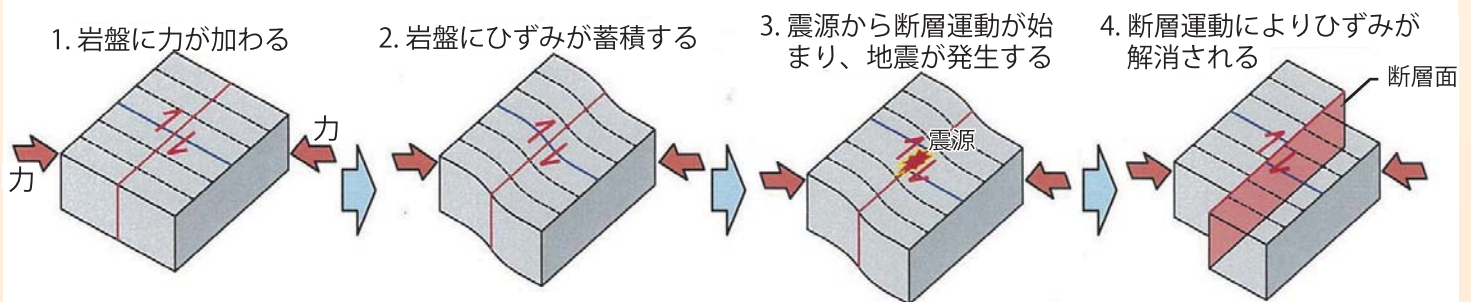
日本では、さまざまな場所で地震が起こっていますが、その場所や、起こる原因などによっていくつかのタイプがあり、それぞれに特徴があります。代表的なものとしては、活断層で発生する地震や、プレート同士の境目付近で起こる地震があげられます。

活断層で発生する地震は、人が多く住んでいる場所のすぐ下で起こることがあり、場合によっては大きな被害が生じます。平成7年(1995年)に発生した阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震もこのタイプの地震でした。



「地震を知ろう 地震調査研究推進本部 HP」より  
(<http://www.jishin.go.jp/main/pamphlet/kodomopanf/jishin.pdf>)

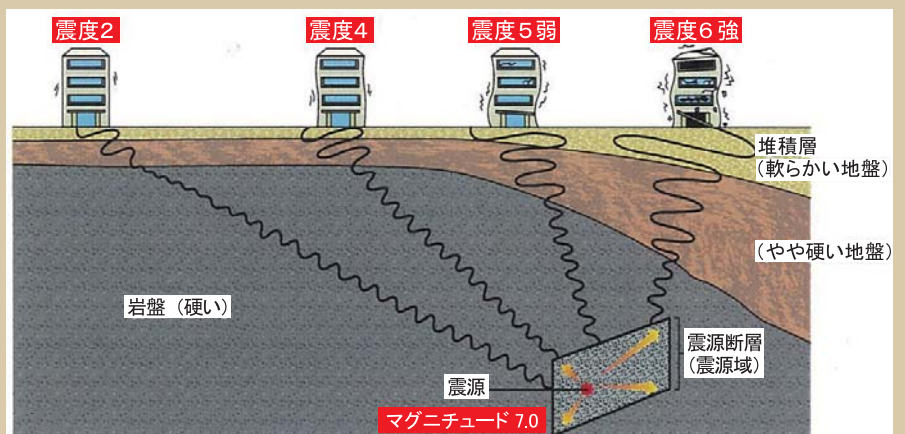
## ●活断層による地震のメカニズム



## 震度とマグニチュード？

マグニチュードとは、震源での地震そのものの規模をあらわすものです。一方、震度とはある地点での揺れの大きさをあらわしたものです。

1回の地震では、地震の規模をあらわすマグニチュードは1つですが、それぞれの場所の揺れの大きさを示す震度は場所によって異なります。



「地震がわかる Q&A 地震調査研究推進本部 HP」より  
([http://www.jishin.go.jp/main/pamphlet/wakaru\\_qa/wakaru\\_qa.pdf](http://www.jishin.go.jp/main/pamphlet/wakaru_qa/wakaru_qa.pdf))